

TOTO

コンパクト手洗器用オートストップ水栓

TL879AF型


商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


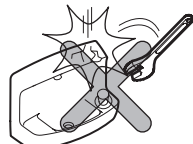

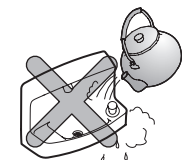
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

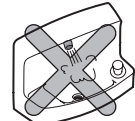

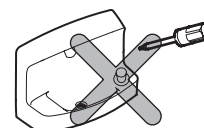
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。


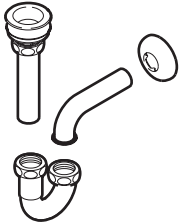
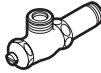









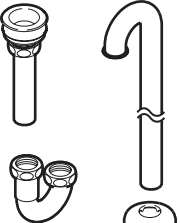





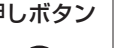









	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
 禁止	手洗器に硬い物を落とさない 破損して、けがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	手洗器にぶら下がったり乗ったりしない 手洗器が破損してけがをするおそれがあります。 
	手洗器に熱湯を注がない 破損して、けがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

注意	
 禁止	40℃以上の湯は使わない 水栓が破損するおそれがあります。 
	屋外や凍結が予想される場所には設置しない 故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。 
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、けがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	水圧が高い場合は、「7 施工後の確認の 2. 流量の調節」を参照して止水栓を絞り流量を調節する 流量を調節しないと手洗器から水があふれ、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 

2

部品の確認

	給水金具	排水金具	止水栓	その他
TL879 AFP型	 給水金具本体		 止水栓	取付金具  バックハンガー  木ねじ  化粧キャップ
TL879 AFS型	 吐水口部  吐水口継手  パッキン  泡まつキャップ  吐水キャップ  吐水ホース		 フランジ	必ずお客様にお渡しください  取扱説明書  施工説明書  注意札
TL879 AFFS型	 押しボタン  押しボタン  パッキン  給水ホース  ソケット  六角棒レンチ (対辺4mm)		 フランジ  止水栓	必ずお客様にお渡しください  取扱説明書  施工説明書 注意札

3

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度	40℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅手洗用	

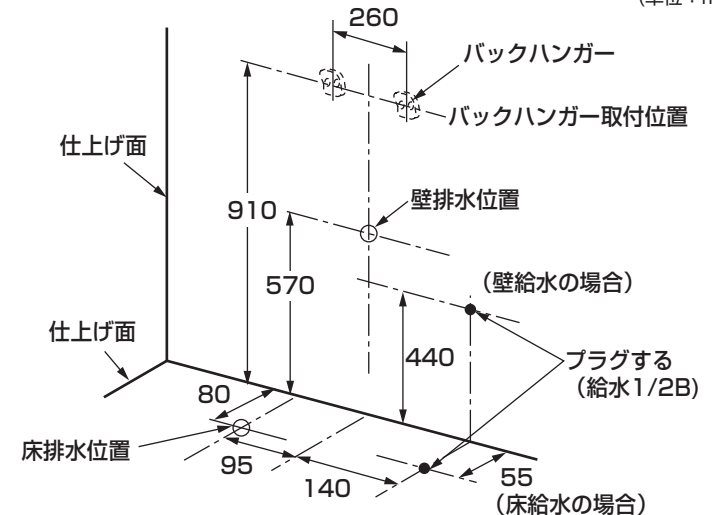
4

取り付け前に

給水・排水管位置の確認

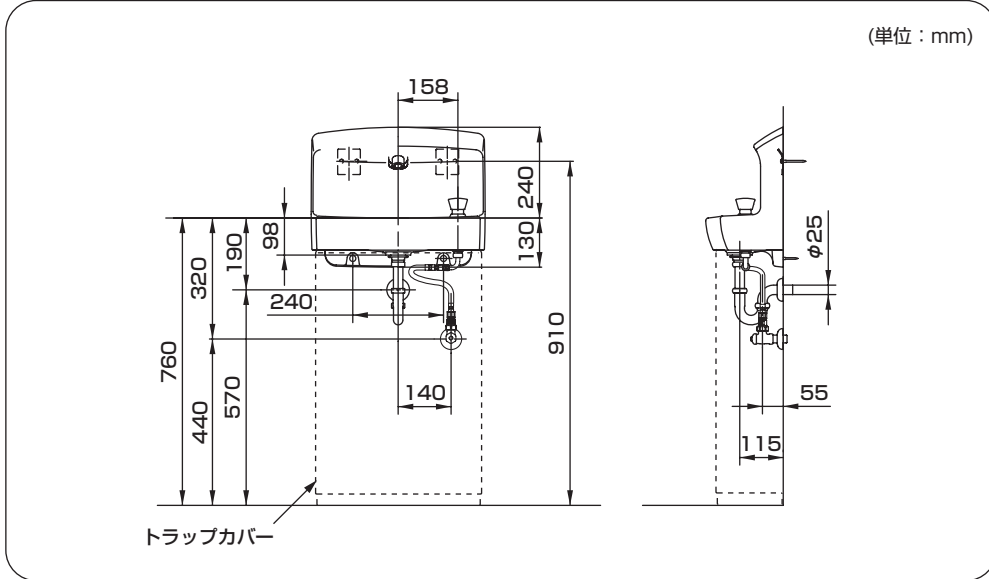
取り付け前に給水管および排水管の位置が正しいか確認してください。

(単位: mm)

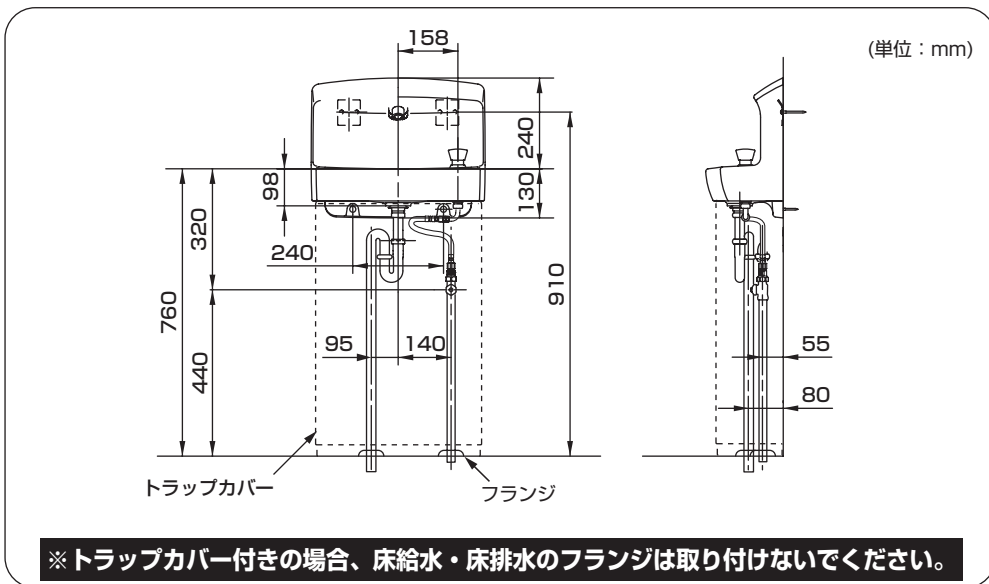


5 完成図

1. 壁給水・壁排水タイプ



2. 床給水・床排水タイプ



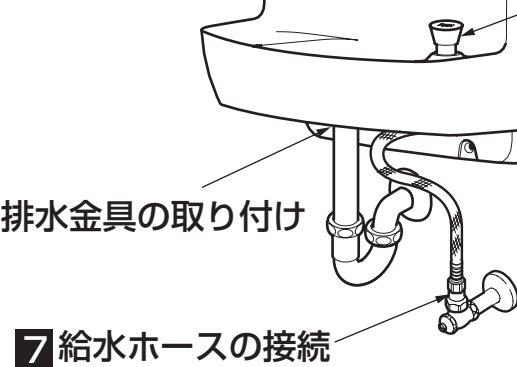
6-1 施工手順

1 バックハンガーの取り付け

2 給水管内の清掃

4 水漏れの確認

5 排水金具の取り付け

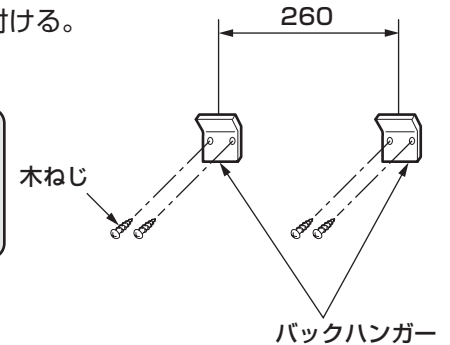


1 バックハンガーの取り付け

バックハンガーを所定の位置に取り付ける。

注意

- バックハンガーは水平に取り付けてください。
- 取付強度を十分確保してください。



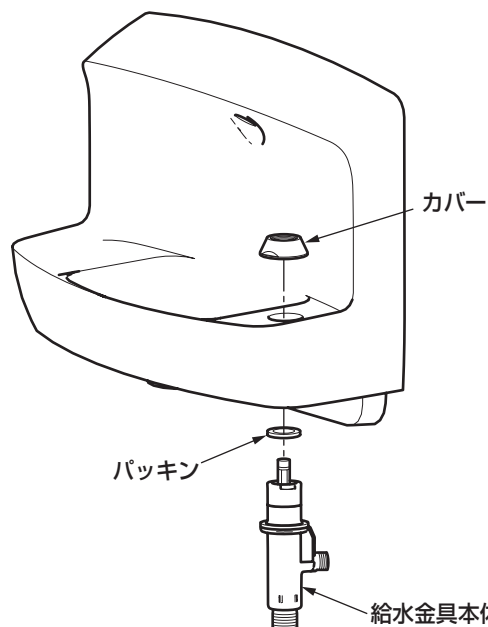
2 給水管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

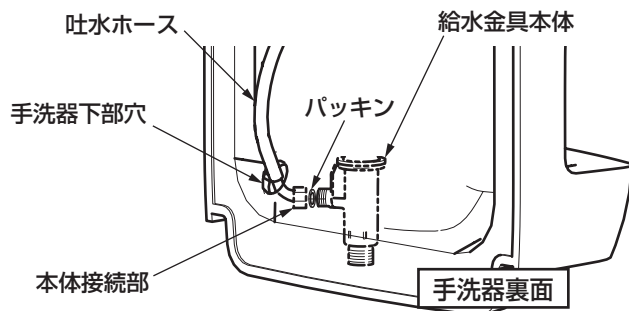
重要

3 給水金具の取り付け

- ① 給水金具本体を手洗器に差し込み、カバーで仮固定する。



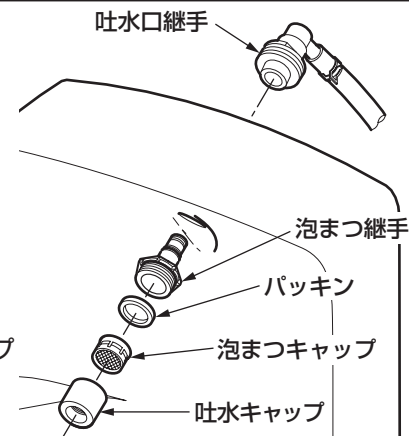
- ② 吐水ホースの本体接続部を手洗器下部穴に通し、給水本体にナットで締め付ける。



注意

本体接続部は、上向きで本体とほぼ同軸になるように取り付けてください。

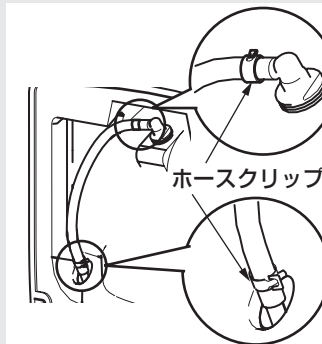
- ③ 手洗器裏面の吐水口取付穴部の汚れを拭き取る。
- ④ 吐水口継手に貼り付いているパッキンのセパレート紙をはぎ、吐水口継手を手洗器に貼り付ける。
- ⑤ 吐水口継手に泡まつ継手をスパナなどで強く締め付ける。
- ⑥ パッキン・泡まつキャップ・吐水キャップを取り付ける。



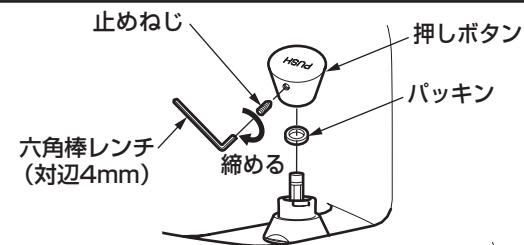
注意

吐水口継手取り付け後、吐水口部と本体接続部のホースクリップの方向を確認してください。

ホースクリップの方向が正しくないと、ホースに折れや破損が生じ、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



- ⑦ 給水金具本体を本固定する。

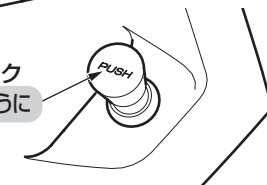


- ⑧ 押しボタンを取り付ける。

※ 止めねじはゆるまないように十分に締め付けてください。

※ 押しボタンは取り付け後、"PUSH"マークを正面の位置にしてください。

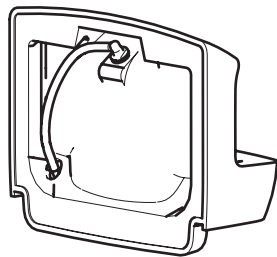
"PUSH"マーク
正面を向くように



裏面へつづく

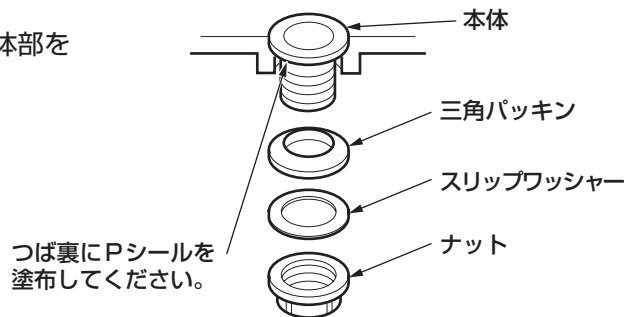
4 水漏れの確認

手洗器を設置する前に耐圧を確認し、手洗器裏側に水漏れがないことを確認する。



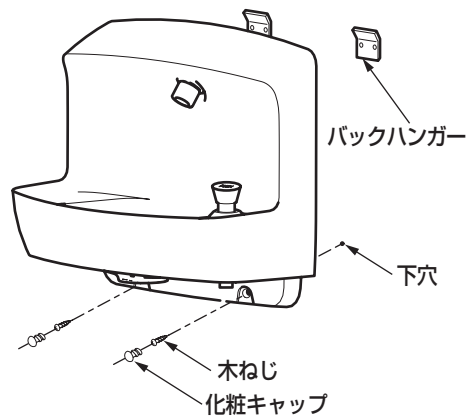
5 排水金具の取り付け

手洗器に排水金具の本体部を取り付ける。



6 手洗器の取り付け

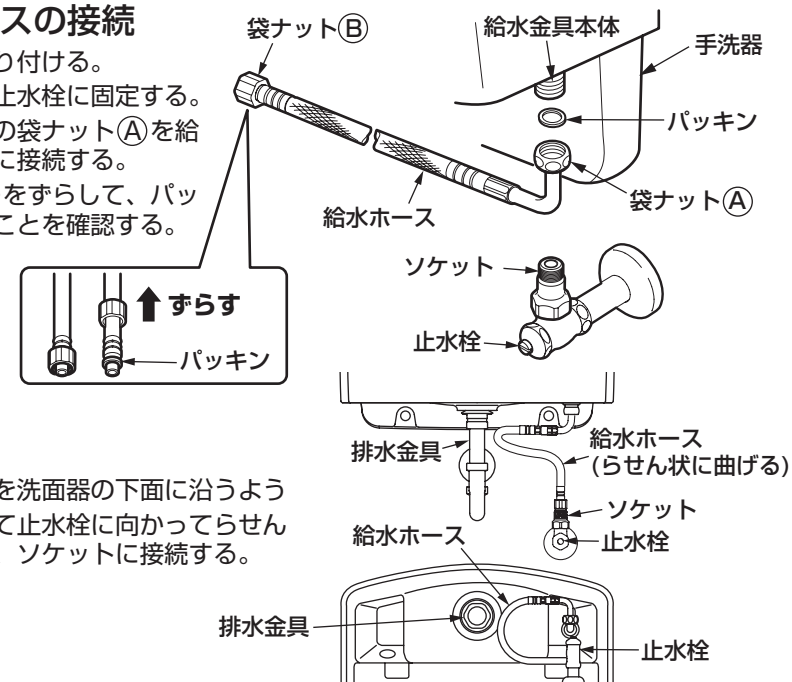
- ①手洗器をバックハンガーに引っかけて仮据えし、上部を押さえ、手洗器が水平であることを確認する。
- ②下部の取付穴の位置をけがき、下穴を開け、木ねじで固定し、化粧キャップをつける。



※施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

7 給水ホースの接続

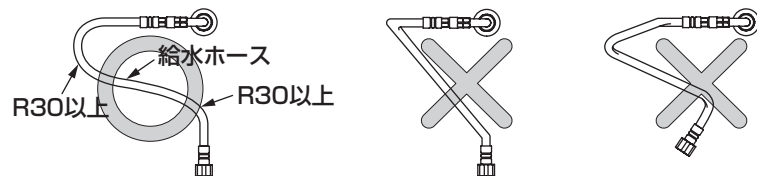
- ①止水栓を取り付ける。
- ②ソケットを止水栓に固定する。
- ③給水ホースの袋ナット①を給水金具本体に接続する。
- ④袋ナット②をずらして、パッキンがあることを確認する。



- ⑤給水ホースを洗面器の下面に沿うように半周曲げて止水栓に向かってらせん状に曲げて、ソケットに接続する。

給水ホース施工上の注意点

- ホースを **必要以上の力で曲げて折らないように** 注意してください。ホースの **最小曲げ半径は30mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。
- ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。
- ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。
- ホースと他部材との **不要な接触は避けて** ください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

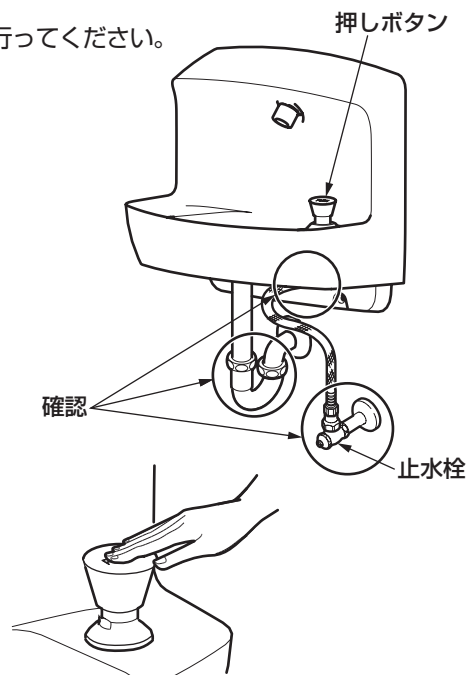


1. 取り付け完了後の確認

取り付けが完了したあと、次の方法で確認を行ってください。

<水漏れの確認>

- ① 止水栓を開ける。
- ② 給水金具・排水金具・止水栓などの接続部から水漏れがないか確認する。



<水を出す・止める>

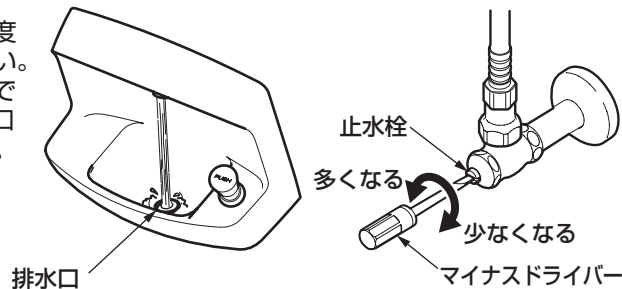
押しボタンを押すと水が出る。

※一定時間水が出たあと、自動的に止まります。

- 取り付け当初、流量は多め、吐水時間は長めに出来ますが、数回の水出し操作で正常になります。
流量の調節・吐水時間の調節は、数回の水出し操作後行ってください。

2. 流量の調節

使用時に水飛びしない程度に流量を調節してください。マイナスドライバーなどで止水栓を回して水が排水口に当たる程度が目安です。



3. 吐水時間の調節

吐水時間を調節する場合次の要領で行ってください。

なお、吐水時間の最大は**0.05Mpa時、20秒程度**です。

1. 流量を確認する。

使用時に水が排水口に当たるよう流量が調節されているか確認してください。

2. 流量の調節

2. 流量の調節

3. 押棒の回り止めのため、モンキーレンチで押棒を支える。

4. マイナスドライバーを差し込み、押棒内部の吐水時間調節ねじを回す。

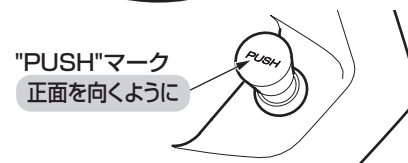
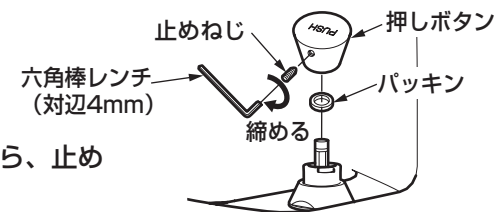
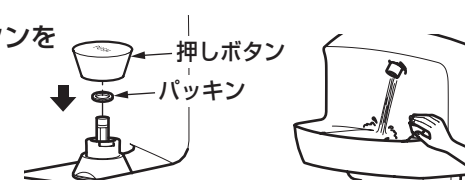
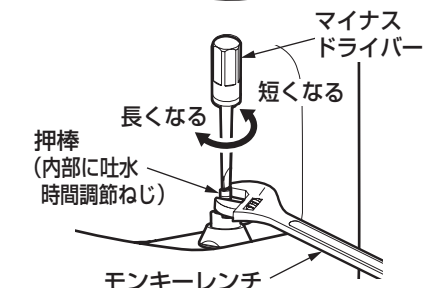
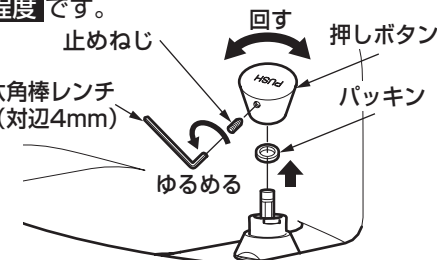
時計回りに回すと吐水時間が長くなり、反時計回りに回すと短くなります。

5. 押しボタンを仮締めし、押しボタンを押して吐水時間を確かめる。

6. 適切な時間に調節が完了したら、止めねじを締め付ける。

※止めねじはゆるまないように十分に締め付けてください。

※押しボタンは取り付け後、"PUSH"マークを正面の位置にしてください。



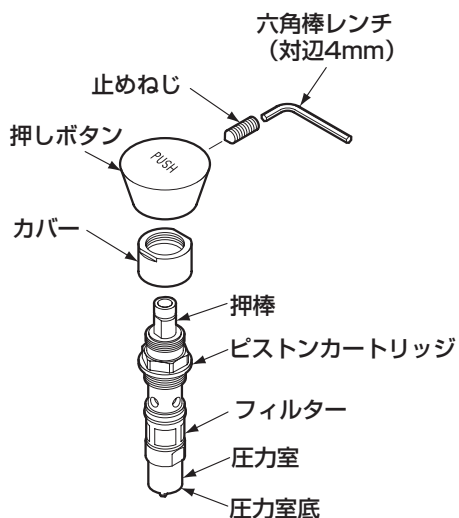
4. 取り付け後の掃除

フィルターが詰まると、水の流れが乱れたり吐水量が少なくなるなど、機能が十分に発揮されませんので、器具の取り付け後は必ず掃除してください。

●フィルターの掃除

- (1) 止水栓を閉じる。
- (2) 止めねじを付属工具（六角棒レンチ）でゆるめて押しボタンを取り外す。
- (3) カバーをスパナでゆるめて取り外す。
- (4) ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取り出す。
- (5) フィルターの網目に詰まったごみを歯ブラシなどで掃除し十分水洗いする。
- (6) 組み立てる（※）

- （※）
- ・組み立ての際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締め付けてください。
 - ・付属の六角棒レンチは必ずお客様にお渡しください。



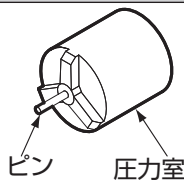
⚠ 注意



禁止

圧力室底に指などが触れた状態で押棒を操作しない

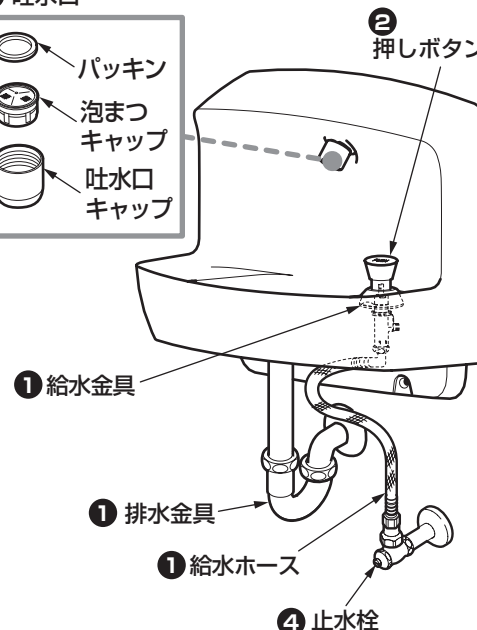
押棒を操作した場合、圧力室底からピンが飛び出ます。けがをするおそれがあります。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

③ 吐水口



水出し確認

配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 押しボタン取り付け用止めねじはゆるんでいませんか？

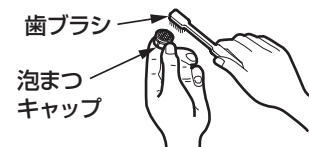
➡ 6-2-③ 「給水金具の取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

③ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。



④ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-1-② 流量の調節 参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水金具・排水金具・給水ホースはしっかり接続されていますか？

- ➡ 6-2-③ 「給水金具の取り付け」参照
- ➡ 6-3-⑤ 「排水金具の取り付け」参照
- ➡ 6-3-⑦ 「給水ホースの接続」参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。